

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	須賀川そばの増産と遊休農地対策事業
事業主体 (連絡先)	北志賀レインボー倶楽部 担当 吉池茂敏 0269-33-6037 0902562-9967
事業区分	6 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,408,000円 (うち支援金: 1,056,000円)

事業内容

須賀川地区の遊休農地の拡大が年々増加している現状を何とか食い止める必要がある。また、高齢化が進む一方で後継者の目途がいない世帯が65%以上となっている。そこで、当倶楽部が地域の担い手となり、そばの増産と遊休農地の削減を図るため本事業によりトラクターを導入することにした。

- ・トラクター18馬力 1台 導入



【トラクター耕運作業】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①作業効率のアップと会員の負担軽減も図られ、遊休農地の削減が予定どおりに出来た。

- ・遊休農地削減面積 → 令和3年度 0.4ha
- ・作付面積 令和2年度 6.76ha → 令和3年度 7.16ha

②耕うん力が増し、雑草の出にくい圃場になったほか、耕作面積の増加(遊休農地)により収量が予想以上にアップした。

- ・収穫量 → 3.9tから4.5tにアップ。
- ・播種時の耕うん時間 5日→3日に短縮(種まき2日→1日に短縮)

③販売強化については、ふるさと納税、SNSでの発信、チラシの作成、SBC ラジオ取材でのPR、大勝軒の特製付けダレと須賀川そばのコラボを実施した。

【目標・ねらい】

- ① 遊休農地の削減
- ② そばの増産
- ③ 販売の強化

※自己評価【C】

【理由】

遊休農地の削減やそばの増産も達成出来たが、コロナの影響によりイベントの中止や販売先の確保が困難となっている。また、若いメンバーの勧誘も進みませんでした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

レインボー倶楽部の基本理念は遊休農地の削減であるため、地域の課題として他の生産者やそば生産振興組合とも協力し、観光業との連携を進め、地産地消や販売に向けたPRを全国的に展開していきたい。また、増産にはもちろん土づくりが必要であるが、年々昆虫による受粉が少なくなってきたことから、今後必要に応じてミツバチの導入も検討し、更に単収当たりの収穫量のアップを図りながら、若い会員の勧誘とお手伝いいただく人員も確保し、遊休農地の削減を積極的に推進したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある